

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 人材の養成・教育研究上の目的を設定しており、その内容は適切である。</p> <p>(2) 本研究科の人材の養成・教育研究上の目的は、大学の理念・目的に関連した内容となっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>経済学研究科ホームページ <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/policy/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/policy/</a></p>				
<p>2019年度『大学院要項』p.58</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 研究科の人材の養成・教育研究上の目的を「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。</p> <p>(2) 人材の養成・教育研究上の目的を『大学院要項』及び大学ホームページに記載し、教職員と学生に周知している。また、研究科のホームページにもより具体的な内容を掲載し、広く社会に向けて公表している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>経済学研究科ホームページ <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/policy/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/policy/</a></p>				
<p>大学ホームページ <a href="https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/purpose2.pdf">https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/purpose2.pdf</a></p>				
<p>2019年度『大学院要項』p.58</p>				

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に行っている場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

## 2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

## 1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 定期的に自己点検・自己評価委員会を開催し、その時々課題について議論している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
自己点検・自己評価委員会 議事録				

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、たとえ、実際に上がった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特になし場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特になし場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価 A
--	-----------

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)DPに学位にふさわしい学習成果を明示しており、それを大学院要項に記載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2019年度『大学院要項』p.74				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)CPに教育課程の体系、教育内容を明示し、それを大学院要項、大学のホームページ、および研究科のホームページに記載している。また、教育課程を構成する授業科目区分を研究科のホームページにて公表している。</p> <p>(2)DPとCPは、適切に関連している</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
経済学研究科ホームページ <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/curriculum/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/curriculum/</a>				
大学ホームページ <a href="https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum02.pdf">https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum02.pdf</a>				
2019年度『大学院要項』p.74				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) CPと教育課程の整合性がとれている				
(2) 研究演習に加え、指導教員の授業科目を必修とすることにより、専門的な学力を修得できるように配慮している。また、体系的な履修を可能とするために、指導教員等が履修すべき科目の指導を行っている。				
(3) シラバスチェックにより、個々の授業内容・方法とCPに整合性があるかを確認している。				
(4) 授業科目と研究演習を組み合わせた適切な構成となっている。				
(5) 税理士志望の学生に対しては、税理士資格を持ち、税務署での勤務経験がある教員が、学問のみならず実務に必要な能力を養成する教育を施している。その他の学生についても、修士論文の中間報告会や口頭試問等を通じて、社会で求められるプレゼンテーション、ディスカッション能力を養成するよう努めるとともに、キャリアセンターを通じてキャリア形成のための指導が適切に行われている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
経済学研究科ホームページ <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/curriculum/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/curriculum/</a>				
経済学研究科ホームページ <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/peculiarity/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/peculiarity/</a>				
2019年度『大学院要項』p.26、p.90、p.157				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)シラバスに授業時間外に必要な学習内容を明示している。</p> <p>(2)シラバスに科目のねらい、到達目標、授業の内容・計画、成績評価方法及び基準を明示している。また、授業評価アンケートにおいて、授業内容とシラバスとの整合性に関する設問を設け、双方の整合性の確保に努めている。</p> <p>(3)学生が主体的に参加する科目として、研究演習を設けている。また、すべての授業科目が少人数で開講されており、学生が主体的に参加できる教育体制となっている。</p> <p>(4)経済学研究科では、研究指導計画が設定されており、大学院要項において公表するとともに、研究指導の内容、方法、およびスケジュールをシラバスの研究演習の箇所に記載している。また、それに基づく研究指導を各教員が実施している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
経済学研究科シラバス(ウェブサイト)				
2019年度『大学院要項』p90				

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3) 卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4) <修士課程・博士課程> 学位論文審査基準を明示していますか。	A
		(5) 学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6) 適切に学位授与を行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 単位設定は適切に行われている。既修得単位の認定については、今のところ経験がないものの、該当者には大学院学則に基づき認定することとなっている。</p> <p>(2) シラバスに評価方法・基準を明示しているおり、それが適切であるかについてシラバスチェックを行っている。また、成績評価についての問い合わせを受け、対応する制度を設けている。</p> <p>(3) 修了要件を大学院要項に明示している。</p> <p>(4) 学位論文審査基準を大学院要項に明示している。</p> <p>(5) 学位論文の審査は、主査である指導教員に2名の副査を加えて客観的かつ厳格に行っている。修了認定は、研究科委員会の議を経た上、大学院委員会でっており、責任体制と手続きが明確である。</p> <p>(6) 適切な学位授与が行われている。</p>			
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>			
根拠資料名			
2019年度『大学院要項』p26、p.52			
大学院学則(『大学院要項』p2)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 授業科目の学習成果については、GPAを算出している。学位論文の審査においては、ルーブリック評価を行っている。 (2) GPAの算出により、学生が自身の学習成果を把握できるとともに、指導教員が学修アドバイスをする際にそれを活用できるようになっている。また、ルーブリック評価を行うことにより、学位論文のできればえを多面的かつ客観的に評価することが可能となっている。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
修士論文審査基準および最終試験(口頭試問)評価基準				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	C
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 自己点検・自己評価委員会およびFD委員会において、教育課程の内容の改善・向上を図るべく、その時々課題について議論している。また、学習成果としてGPAを算出し、それをもとに指導教員が学習指導を個別に行うとともに、奨学生の選定や卒業判定の際に、GPAを活用している。さらに、2019年度より修士論文審査においてルーブリック評価を実施し、審査の客観性、透明性を図っている。一方、ルーブリック評価の結果を教育課程の点検・評価のためには十分に活用できていない。 (2) 学習成果の測定結果の点検・評価に基づいた改善・向上への取り組みが行われていない。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
自己点検・自己評価委員会 議事録				
FD委員会 議事録				
修士論文審査基準および最終試験(口頭試問)評価基準				



2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、  
 たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、  
 記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
⑦(1)、⑦(2)	教育課程とその内容・方法が適切であるかを点検・評価する際に、学習成果の測定結果が十分に活用されていない。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既実施している場合はその進捗状況も含めて)を  
 記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
⑦(1)、⑦(2)	学習成果の測定結果を活用して、教育課程とその内容を点検・評価する方法を検討する。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) DPとCPを踏まえてAPを適切に設定している。また、APを大学院要項とホームページにて公表している。</p> <p>(2) 入学前に求められる学習歴、学力水準、能力等を踏まえてAPを設定している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>経済学研究科 <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/examination/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/examination/</a></p>				
<p>2019年度『大学院要項』p.74</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) APに基づいて、学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定している。</p> <p>(2) 大学院委員会において合格基準の確認・見直しを行っている。また、入学試験実施後に研究科委員会において判定を行い、最終的には、大学院委員会において、研究科委員会の判定内容を審議している。</p> <p>(3) ②(2)で述べた適切な体制のもとで、公正な入学者選抜を実施している。</p> <p>(4) 社会人の入学者選抜における外国語試験免除等の入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>経済学研究科ホームページ <a href="http://economics.agu.ac.jp/graduate/examination/">http://economics.agu.ac.jp/graduate/examination/</a></p>				
<p>大学ホームページ <a href="https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/subject/">https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/subject/</a></p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)とりわけ大学院教育においては、学生個人に対するきめ細やかな研究指導が必要となるが、それに応じた定員を設定し、きめ細やかな指導を行っている。2019年度の収容定員充足率は0.50を下回っているが、経済学研究科は創設3年目であり、広報活動や社会連携活動により知名度を増しつつあり、2019年度入学者は、入学定員に対して約半分に達した。今後も在籍学生数比率を上昇させるために様々な活動を行う。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	B
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)今のところ、研究科において、AP、入学定員及び収容定員に特段の問題がないという共通認識があるため、それらの適切性についての点検・評価は行われていない。 (2)AP、入学定員及び収容定員に特段の問題がないという共通認識があるため、現時点では改善・向上に向けた取り組みは行われていない。				
[根拠資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
④(1)	AP、入学定員及び収容定員に特段の問題がないという共通認識があるものの、それらの適切性についての点検・評価が行われていない。

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
④(1)	自己点検・自己評価委員会等において、AP、入学定員及び収容定員の適切性について点検・評価することを検討する。
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)研究科の教員組織の編制方針を適切に定めている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
経済学研究科 教員組織の編制方針				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)専任教員数は、大学院設置基準を満たしている。また、研究科におけるきめ細やかな教育を行う上で、その数は適切である。 (2)学部の専任教員のうち、教授、准教授(一部の講師を含む)が研究科の専任教員を兼務しているが、学部と研究科の双方の設置基準上必要な専任教員数を安定的に満たすために、募集・採用・昇任を計画的に実施している。				

- (3)
- ・主要な科目は、すべて専任教員が担当している。専任教員による担当が困難な科目についてのみ、兼任や非常勤講師を依頼している。
  - ・女性教員は、2019年度は2名であり、2020年度にさらに1名が着任している。外国人教員は存在しないが、本研究科の教育を進める上で特に支障はない。全体として本研究科の教育目的に即した教員配置となっている。
  - ・原則として、学部の教授と准教授が研究科の専任教員を兼務しているが、特段の事由がある場合は、学部の講師も兼務している。研究科を担当させる教員については、「経済学研究科 教員資格基準内規に関する申し合わせ」に基づいて、研究科委員会において審査・審議し、最終的には、大学院委員会において、研究科委員会の審議内容を審議している。
  - ・学部の担当科目を含め、原則最大で8コマまでとなっている。8コマを担当している教員は、負担が過重であると考えられ、その対応方法を検討する必要がある。
  - ・61歳以上の教員数が多めであるが、概ね年齢構成のバランスはとれている。

(4)

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

経済学研究科 教員資格基準内規に関する申し合わせ

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) ②(2)で述べた通り、学部の専任教員のうち、教授、准教授、および一部の講師が研究科専任教員を兼務しているため、学部において教員の募集、採用、昇任等に関する基準と手続を設定し、規程を整備している。その上で経済学研究科としての資格基準と手続きを整備している。</p> <p>(2) 研究科の教育体制を考慮しつつ、学部及び経済学研究科の規程等に沿って教員の募集、採用、昇任等を実施している</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
経済学研究科 教員資格基準内規に関する申し合わせ				
経済学部採用人事規程				
経済学部教員資格昇任規程				
別表「経済学部教員昇任基準表」				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 研究科の全専任教員を構成員とするFD委員会を定期的に開催している。</p> <p>(2) 専任教員は、毎年、教育活動、研究業績、および社会活動を自己点検・評価している。また、学生を対象とした授業アンケートを実施している。これらの結果の活用は、教員単位で行っている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
FD委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 学部教授会において採用人事を立ち上げる際、現行の教員組織を見直し、学部と研究科の双方にとって適切な補充科目を検討している。</p> <p>(2) ⑤(1)の検討に基づいた採用人事を実施している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A



2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 中小企業大学校瀬戸校との連携講座を毎年開催している。</p> <p>(2) ②(1)の聴講対象として、社会人にも門戸を開いている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
愛知学院大学大学院経済学研究科 with 申中小企業大学校瀬戸校連携セミナー				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) ②(1)の参加者に対して、アンケートを実施し、内容の適切性について点検・評価をしている。</p> <p>(2) ③(1)を参考にし、執行部において、次年度の講座内容を検討している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
受講者アンケート結果				

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

## 5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A